

鶴亀算

④

60円切手と80円切手が合計で15枚あり、
合計で1000円です。
60円切手と80円切手はそれぞれ何枚ありますか。

まず15枚ある切手をすべて60円切手だと考えます。

60円切手15枚 900円

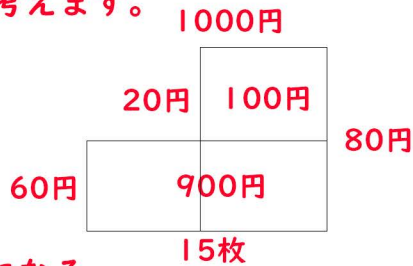
これだと余っている金額は100円

$1000 - 900 = 100$ 円

余っている金額を80円切手に変えるので

$100 \div 20 = 5$ 枚

そうすると60円切手10枚、80円切手5枚になる。



答え

60円切手8枚
80円切手2枚

60円切手と80円切手が合計で25枚あり、
合計で1780円です。
60円切手と80円切手はそれぞれ何枚ありますか。

まず25枚ある切手をすべて60円切手だと考えます。

60円切手25枚 1500円

これだと余っている金額は280円

$1780 - 1500 = 280$ 円

余っている金額を80円切手に変えるので

$280 \div 20 = 14$ 枚

そうすると60円切手11枚、80円切手14枚になる。



答え

60円切手11枚
80円切手14枚

20円切手と40円切手と80円切手が合計で10枚あります。
合計で400円です。
20円切手と40円切手と80円切手はそれぞれ何枚ありますか。

まず20円切手と40円切手を平均の30円切手とします。

10枚ある切手をすべて30円切手だと考えます。

30円切手10枚 300円

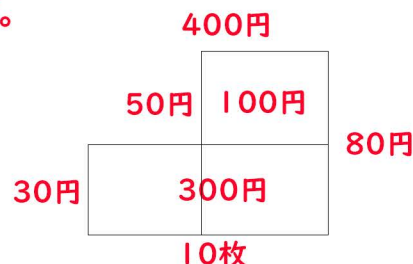
これだと余っている金額は100円

$400 - 300 = 100$ 円

余っている金額を80円切手に変えるので

$100 \div 50 = 2$ 枚

そうすると80円切手2枚になり、
20円切手と40円切手はそれぞれ4枚ずつ。



答え

20円切手4枚
40円切手4枚
80円切手2枚